

農山漁村地域整備計画における事後評価

○ 計画の概要

計画の名称	広島県森林林業農山漁村地域整備計画
計画策定主体	広島県
対象市町村	広島市, 呉市, 竹原市, 三原市, 尾道市, 福山市, 三次市, 庄原市, 大竹市, 東広島市, 廿日市市, 安芸高田市, 江田島市, 府中町, 熊野町, 安芸太田町, 北広島町, 大崎上島町, 世羅町, 神石高原町 (20市町)
計画の期間	平成27年度～平成31年度(5年間)
計画の目標	森林整備事業を推進し, 森林施業の効率化や木材輸送機能を強化することにより, 森林整備面積及び木材生産量の拡大を目指す。また, 治山事業を推進し, 山地災害防止機能や水源かん養機能等の森林が有する公益的機能を高度に維持発揮させる。
定量的指標	森林整備事業を推進することにより, 低コスト林業団地における間伐面積を4,500ha(平成22～26年度の合計)から7,100ha(平成27～31年度の合計)に増加する。また, 治山事業を推進することにより, 山地災害防止機能等が確保される集落数を3,249集落(H26年度末)から3,259集落(H31年度末)に増加する。

○ 評価結果

事業評価項目	評価の内容				
交付対象事業の進捗状況	当該計画に基づき, 適正に森林整備事業及び治山事業を実施した。 全体事業費 計画:6,162百万円 実績:6,162百万円(100%)				
事業効果の発現状況	事業を実施したことにより, 効率的な木材生産を実施することが可能となったとともに, 森林の公益的機能の向上が図られた。				
成果目標の目標値の実現状況	評価項目	現状値 (平成27年度末)	目標値 (令和元年度末)	実績値 (令和元年度末)	達成率
	低コスト林業団地内における間伐面積	4,500ha	7,100ha (2,600ha増)	7,109ha (2,609ha増)	100%
	山地災害防止機能が確保される集落の整備	3,249集落	3,259集落 (10集落増)	3,259集落 (10集落増)	100%
今後の方針	整備した施設を適正に維持管理し, 事業効果の継続的な発現を図る。				